

2016 年 6 月吉日

お客様各位

CAESEKI.com 事務局
(カイセキドットコム)

「第 30 回 経営に貢献する CAE セミナー」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、CAESEKI.com におきましては、毎年恒例の掲記セミナーを以下のように開催いたします。
ご多忙の折、誠に恐縮ですが、是非ご出席を賜りたくお願い申し上げます。

敬 具

— 記 —

1. 名 称 : 第 30 回 経営に貢献する CAE セミナー
2. 開催日時 : 2016 年 7 月 1 日 (金) 13: 00～19:30 (懇親会を含む)
3. 会 場 : 東京工業大学(大岡山キャンパス)蔵前会館 1F くらまえホール
4. 参 加 費 : 無料(懇親会を含む)
5. 申込方法 : 以下の URL よりお申込みください。

<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/4464>

6. 定 員 : 200 名
7. 趣 旨 :

製造業におかれましては、市場での生き残りを賭けて、製品の企画・開発プロセスのデジタル化を急速に進められています。その中でも CAE の活用は大きな役割を担っています。このような状況に対応して、CAESEKI.com 事務局(富士通グループ)では、お客様に CAE に関する有用な情報をご提供すると共に、業種横断的な情報交流の場をご提供することを目的として、セミナーを開催しております。

本セミナーでは、『経営に貢献する CAE』をテーマに開発プロセスの革新とともに、CAE の活用により経営に貢献されているお客様にお願いいたしまして、取り組み、効果、IT 技術への一層の期待などを、ご紹介頂く予定です。

8. CAESEKI.com について

CAESEKI.com は、富士通株式会社が主催し、デジタルプロセス株式会社、株式会社富士通システムズ・イースト、株式会社富士通九州システムズ、富士通アドバンステクノロジー株式会社が

が参加する日本最大級の解析シミュレーション・コンソーシアムの名称です。

セミナー連絡先:

デジタルプロセス株式会社

デジタルコンテンツサービス部

担当 宇梶

電話番号:046-225-3940

電子メールアドレス: seminar@caeseeki.com

ホームページ URL: <http://www.CAESEKI.com/>

経営に貢献する CAE セミナー詳細

開催日時: 2016 年 7 月 1 日(金) 13:00~19:30 (懇親会を含む)

会 場: 東京工業大学(大岡山キャンパス) 蔵前会館 1F くらまえホール

セミナー内容

12:00	受付開始	(司会:株式会社富士通九州システムズ エンジニアリングソリューション本部 テクニカルコンピューティングソリューション部 部長 浜辺 智)
13:00 - 13:10	ご挨拶	富士通株式会社 チーフエグゼクティブアーキテクト(テクニカルコンピューティング担当) 山田 昌彦
13:10 - 14:00	事例講演 I	「マツダ 新世代商品開発における CAE 展開」 マツダ株式会社 車両開発本部 CAE 技術開発グループ マネージャ 江頭 裕二 様
14:05 - 14:55	事例講演 II	「超次世代型メカニカルシール開発における高度 CAE 技術の構築と適用」 イーグル工業株式会社 技術本部 部長 博士(工学) 井上 秀行 様
14:55 - 15:25	休憩	(デモ・展示)
15:25 - 16:15	事例講演 III	「製品開発を支える CAE(実験力・解析力・評価力)と組織」 日立建機株式会社 実験解析評価センタ センタ長 田村 和久 様
16:20 - 17:10	基調講演	「シミュレーションの品質向上のための V&V」 東京大学大学院 工学研究科 システム創成学専攻 教授 越塚 誠一 様
17:10 - 17:25	「CAESEKI.com 事務局からのお知らせ」	富士通株式会社 テクニカルコンピューティング・ソリューション事業本部 TC フロンティアセンター
17:45 - 19:30	懇親会	東京工業大学 大学食堂棟 1F 第一食堂

注. プログラムは変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

ご講演要旨

事例講演Ⅰ 「マツダ 新世代商品開発における CAE 展開」 マツダ株式会社 江頭 裕二 様

マツダは 1980 年から段階的に CAE の車種適用を進化させてきました。従来の検証ツールから開発プロセスにおけるマネジメントツールへ、そして、現在では新世代商品群におけるモノ造りの中核的存在になっています。その原動力になっているのが、CAE のプロセス革新、期間短縮、検証領域拡大、性能達成率の向上からなる 4 本の柱とその土台となる人、組織、リソースなどで構成された戦略です。

本講演では、この中の 4 本柱の強化の取り組みと成果、および今後の展望について紹介します。

事例講演Ⅱ 「超次世代型メカニカルシール開発における高度 CAE 技術の構築と適用」 イーグル工業株式会社 井上 秀行 様

メカニカルシールに要求される性能は年々厳しくなっており、シール対象物の高温・高圧化や機械の高速化などのニーズの多様化に加え、低負荷、低エネルギー損失など環境への配慮も求められています。次世代型メカニカルシールに使用された表面テクスチャリング技術は、ゼロリークという密封機能と超低トルクとなる潤滑機能を両立させ、これらの課題を解決する技術として、現在大きく注目を集めています。

本講演では、超次世代型メカニカルシール開発において、構造解析や流体解析などの CAE を有効的に活用した事例について紹介致します。

事例講演Ⅲ 「製品開発を支える CAE (実験力・解析力・評価力) と組織」 日立建機株式会社 田村 和久 様

当社の CAE 活用について過去の悪さ加減や問題点を振り返ると共に、これらを払拭すべく真に開発貢献する CAE を展開する為に取り組んできた内容 (Step1: ~2014) を技術・人材・組織面からご紹介する。

当センタのミッションは実験と解析 (CAE) を開発サイクルに組み込み、事前保証力を向上、製品開発時の開発品質&効率を向上する事である。

基調講演 「シミュレーションの品質向上のための V&V」 東京大学大学院 越塚 誠一 様

シミュレーションを用いて高度なものづくりを行うには、シミュレーション結果の品質向上が欠かせません。V&V (Verification and Validation) はシミュレーションの品質を高めるための方法論で、欧米や日本では学会規格としてその考え方が整備されつつあります。ここでは、V&V の考え方の基本と、学会規格の現状について紹介します。

本セミナーは技術の研修を目的とするものではありません。あらかじめご了承の程よろしくお願いします。

●東京工業大学 大岡山キャンパス 交通案内

※ 詳しくは、<http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/access/index.html> より ご参照願います。
ご来場の際は、最寄りの公共交通機関をご利用下さい。



大岡山駅の正面改札口を出て、東急ストア右側にあるガラス張りの建物が蔵前会館です。
(正門は通らずに入ることができます。) 徒歩1分。